

## 平成25年度事業報告について

自 平成25年4月 1日  
至 平成26年3月31日

I 平成25年度は、県・市町の支援と社員各位の協力を得て、次のとおり事業を実施した。

### 1 分収造林事業（定款第4条第1項第1号、3号）

平成25年度末現在の造林面積は19,413haとなっている。伐期を迎えたヒノキ林の主伐事業については、木材価格の低迷により伐採を見合わせたが、利用間伐事業を推進するとともに、除伐・間伐等の保育事業については計画的に実施し、森林の適正管理に努めた。

一方、経営改善対策として、資金調達の円滑化を図るため、日本政策金融公庫の借換資金を活用するとともに、人件費や物件費の経費節減に加えて、県からの無利子借入金等により、支払利息の低減を図った。

#### (1) 主間伐事業

木材価格の低迷により主伐を見合わせる中、造林補助金を活用した利用間伐事業や作業道開設を積極的に実施し、木材の有効利用に努めた。

##### ① 収入

区 分	事 業 量		販 売 額(円)
主 間 伐 等	223.04ha	16,301m <sup>3</sup>	248,208,300
立 木 補 償	9,907m <sup>2</sup>		1,466,000
計	—		249,674,300

(注) 販売額には補助金収入を含む

##### ② 経 費

区 分	内 容	事 業 費(円)
主 間 伐 等	調査費、伐採搬出費等	150,516,939
立 木 補 償	調査費	99,000
計	—	150,615,939

#### (2) 新植・保育事業

森林を適正に管理するため、右表の新植・保育事業を実施した。

特に、間伐については、「新ひょうごの森づくり」の「森林管理100%作戦」推進事業や緊急防災林整備事業(県民緑税)を活用し、林地保全に配慮しながら、将来優良な木材が収穫できるよう取り組んだ。

区 分		事 業 量	事 業 費(円)
新 植	新 植	3.10ha	2,966,250
	病虫害獣防除(鹿柵設置)	2,074.00m	6,104,700
保 育	下 刈	2.35ha	399,000
	除 伐	4.98ha	1,083,600
	間 伐	481.98ha	57,506,242
	枝 打	26.95ha	7,290,723
	病虫害獣防除(鹿柵補修)	—	575,770
計		—	75,926,285

### (3) 作業道の開設等

平成25年度末現在の延長累計は370,460mとなり、造林面積1haあたりの作業道密度は19.1mとなった。

区 分	事 業 量	事 業 費(円)
作 業 道 開 設	34,136m	65,447,550
作 業 道 補 修	—	9,697,122
計	—	75,144,672

## 2 県営分収育林事業（定款第4条第1項第2号、3号）

平成25年度末現在の分収育林面積は2,365haとなっており、多面的機能の高度発揮と、暮らしを支える付加価値の高い木材生産(100年生の森づくり)をめざし、利用間伐・保育間伐事業や作業道の開設等を計画的に実施した。

### (1) 利用間伐事業等

造林補助金を活用して、保育費の低減が見込める林分を対象に利用間伐事業等を実施し、間伐材の有効利用に努めた。

#### ① 収 入

区 分	事 業 量		販 売 額(円)
利 用 間 伐 等	14.03ha	1,470m <sup>3</sup>	22,884,133
立 木 補 償	1,906m <sup>2</sup>		689,698
計	—		23,573,831

(注) 販売額には補助金収入を含む

② 経 費

区 分	内 容	事 業 費(円)
利 用 間 伐 等	調査費、伐採搬出費等	13,546,056
立 木 補 償	調査費	16,500
計	—	13,562,556

(2) 保育事業

区 分	事 業 量	事 業 費(円)
間 伐	102.27ha	10,776,150

(3) 作業道の開設等

区 分	事 業 量	事 業 費(円)
作 業 道 開 設	1,667m	2,802,450
作 業 道 補 修	—	646,320
計	—	3,448,770

3 県有林等の管理等受託事業（定款第4条第1項第5号）

県民の憩いの森として利活用している県有林や県有環境林、県が分収造林契約により造成した県行造林において巡視や森林の保育等の維持管理事業を実施した。

区 分	箇 所	面 積	事 業 費(円)
県有林・県行造林 〔巡視等財産管理〕	10	304.44ha	14,362,000
（ 保 育 ）	（ 1 ）	（ 1.90ha ）	
県 有 環 境 林 〔 林 内 巡 視 等 〕	5	679.98ha	4,284,000
計	15	984.42ha	18,646,000

(注) 県有林・県行造林欄の（ ）書きは内数

#### 4 森林整備事業（定款第4条第1項第3号、6号）

兵庫県が進めている「災害に強い森づくり」の実行機関として、森林の防災機能を高めるため、県民緑税を活用した里山防災林整備、野生動物育成林整備及び緊急防災林整備【溪流対策】にかかる基本計画調査、整備造成工事を実施した。

##### （1）里山防災林整備

集落裏山の里山林において、森林整備に併せて、簡易な防災施設や歩道の整備を実施した。

区 分	箇所数	事業量	事業費(円)	備 考
基本計画調査	20	403ha	105,244,650	香美町香住区上計 ほか
整備造成工事	20	406ha	314,811,000	神河町長谷 ほか
計	—	—	420,055,650	

##### （2）野生動物育成林整備

農作物被害や精神的・身体的被害が生じるなど、野生動物と人とのあつれきが生じている区域において、人と野生動物との棲み分けゾーンの設置や広葉樹林の整備を実施した。

区 分	箇所数	事業量	事業費(円)	備 考
基本計画調査	23	460ha	88,476,150	養父市八鹿町大江 ほか
整備造成工事	(5) 27	(66ha) 327ha	193,264,050	加古川市志方町畑 ほか
計	—	—	281,740,200	

(注) 整備造成工事欄の( )書きは、平成24年度からの継続分で内数

##### （3）緊急防災林整備【溪流対策】

土石流や流木災害が顕在化する危険溪流を対象に、溪流沿いの危険木を除去するとともに、深根性の広葉樹の植栽や簡易流木止め施設の設置を実施した。

区 分	箇所数	事業量	事業費(円)	備 考
基本計画調査	45	197ha	76,172,250	丹波市市島町岩戸 ほか
整備造成工事	84	347ha	608,143,200	多可町八千代区大屋ほか
計	—	—	684,315,450	

## 5 緑化事業（定款第4条第1項第4号、6号）

兵庫県が進めている「新ひょうごの森づくり」を推進するため、「森林管理100%作戦」推進事業など緑化基金を活用した森林の整備事業等を実施した。

また、森林が持つ多面的機能の維持・増進を目的とした森林整備をはじめ、公共施設周辺等の環境緑化事業や緑地維持管理事業、設計積算、施工監理業務等を受託して実施した。

### （1）緑化基金による森林の整備事業等

事業名	事業量	事業費(円)
「森林管理100%作戦」推進事業	2,528.61ha	55,824,198
広葉樹林化促進パイロット事業	10.56ha	5,950,863
住民参画型里山林再生事業	10地区	10,179,000
企業の森づくり推進事業	17企業	1,524,000
計	—	73,478,061

(注) 企業の森づくり推進事業は、収益事業等（緑化推進助成事業）で実施

### （2）受託事業

区分		箇所数	事業費(円)
兵庫県	農政環境部	10	68,899,950
	県土整備部	3	23,283,750
	企業庁	1	5,073,600
市町		3	3,389,400
兵庫県住宅供給公社		2	838,950
計		19	101,485,650

## 6 県立三木山森林公園管理運営事業（定款第4条第1項第11号）

兵庫県から指定管理を受け、「森林づくり施業計画」に基づく森林整備を行うとともに、生物多様性の保全・再生に向けたススキ・チガヤ草原や「チョウの森」「トンボ公園」等の環境整備を実施した。

また、森林環境学習や三木山サポーター活動など「参画と協働」の舞台づくりに積極的に取り組むとともに、豊かな緑のなか、文化活動やスポーツ・レクリエーション活動を楽しむなど、人と森林とのふれあいを育み、広く県民に親しまれる公園（面積約81ha）として管理運営を実施した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費(円)
運 営 業 務	① 施設の利用者数：606,423人 ② 施設等利用件数：4,407件 ・音楽ホール：234件 ・多目的ホール、研修室：194件 ・森の風美術館：101件 ・会議室：252件 ・クラフト館：2,897件 ・その他：729件 ③ 施設や活動内容等の情報提供 ・イベントチラシ等の作成：118,000部（年3回ほか） ・ホームページ、新聞、雑誌等による情報発信 ・展示室を利用した生物多様性の普及啓発等 ④ イベント等の企画、実施 ・普及啓発イベント（森林環境イベントほか）：41回 23,436人 ・自主イベント（季節イベントほか）：13回 9,245人 ⑤ 多様な森林づくりの計画実施 ア 森林管理 ・森林づくり：自然環境調査 65.3ha 下刈ほか 2.08ha ・樹木管理：施肥等（中高木 50本、低木 7,320㎡） ・松くい虫駆除：伐倒 132.7㎡ 樹幹注入薬剤 448本 イ 生物多様性の保全・再生 ・「生物多様性戦略2017」に基づくチョウの森、トンボ公園の整備 ・草原・水辺環境整備：ススキ、チガヤ草原整備、水路整備ほか ・全国的な「里地モニタリング1000」調査 ウ 芝生管理 芝刈ほか 3.1ha 目土ほか 1.44ha エ 花壇の花植替 4回・部分補植 3回 ⑥ 森林・緑化に関する知識の普及等 ・自然環境学習：35回（20小学校延べ34回、新任教員研修1回） ・緑化相談等技術指導：139件 ・ポスター展示等による啓発	27,095,502
維持管理業務	公園用地の巡視管理、建物施設の維持管理 ほか	30,176,726
修 繕 費	森のクラフト館手すり交換、駐車場入出場ゲート修繕ほか	6,407,141
人 件 費	職員、嘱託員に係る給与等	59,221,098
計		122,900,467

（注）自主イベント等は、収益事業等（施設利用者等への利便提供事業）で実施

## 7 農地保有合理化事業（定款第4条第1項第7号）

県全域を活動区域に農地の売買ができる唯一の農地保有合理化法人として、認定農業者等の担い手へ農地の集積・集団化を図り、効率的かつ安定的な農業経営を育成するため、離農又は農業経営の転換など規模縮小する農業者から農用地を買入れ（借入れ）、規模拡大を志向する農業者に売渡し（貸付け）を行うほか、農作業受託で規模拡大を目指す認定農業者等に資金の支援を実施した。

区 分		件 数(件)	数 量	事 業 費(円)
売 買 事 業	買 入	2	1.4 ha	13,772,000
	売 渡	3	1.6 ha	22,553,000
貸 借 事 業	一括前払い	2	12.1 ha	-
	年 払 い	5	14.0 ha	2,241,819
農作業受託	新 規	1	5.1 ha	9,000,000
促 進 事 業	継 続	7	47.1 ha	-

(注1) 売買事業の売渡のうち1件(0.2ha)については、分割納付が完了したもの

(注2) 貸借事業については、継続事業

8 農業後継者育成事業（定款第4条第1項第8号）

(1) 農業後継者育成事業積立資産活用事業

積立資産の運用収入を活用した事業を地域協議会等と連携して実施するとともに、新たに33名の青年農業士を認定した。

区 分	事 業 内 容	事業費(円)
地域協議会事業	<p>地域事情に応じた若手農業後継者育成対策を展開するため、「技術の向上」、「啓発」、「青年農業者育成」、「交流」に関する地域活動を地域協議会に委託して事業を実施</p> <p>①地域協議会数：11協議会 ②委託した主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新技術修得</li> <li>・シンポジウム、研修会</li> <li>・広報啓発</li> <li>・先進地視察</li> <li>・青年農業者グループ活動 など</li> </ul>	15,275,663
若手農業者総合対策事業	<p>若手農業後継者の活動を促進し、青年農業者の育成と地域農業の活性化を図るとともに、新規就農者の確保・育成のための環境を醸成</p> <p>県青年農業士会員と農業青年クラブ員の共同事業として、Webサイト「たべるをはじめる」を開設 (<a href="http://taberu-hajimeru.com/">http://taberu-hajimeru.com/</a>)</p>	
青年農業士会活動	<p>青年農業士自らが資質向上を図るため開催する先進地視察研修(7名)、食育勉強会(23名)や先輩農家との交流会等の支部活動(3支部96名)及び新規就農者へのエルダー活動を実施(179名参加)</p> <p>(青年農業士会員 平成26年3月末現在：73名)</p>	
農業青年クラブ等活動	<p>農業青年クラブ員が実施する先進地視察研修やJAの青壮年部が企画する農作業体験や消費者との交流会等を実施</p> <p>(農業青年クラブ等：17団体)</p>	
若手地域農業リーダー育成研修事業(海外派遣)	<p>農業高校生・農業大学校生及び若手農業者を海外に派遣し、各種の研修を行いながら、国際的な視野・農業知識等を修得させ、将来の地域農業リーダーを育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣先：ブラジル連邦共和国、アメリカ合衆国</li> <li>・期間：平成25年11月15日～30日の16日間</li> <li>・参加人数：研修生11名及び引率指導者2名</li> <li>・事前研修：3回(平成25年8月、9月、10月)</li> <li>・結団式、反省会、解団式：各1回</li> </ul>	
高校生就農講座開催事業	<p>高校生等に対し、地域の青年農業士等による就農に向けた講演、農場視察等を行い、将来の就農に向けた意識啓発を実施(農業関係高校10校 554名参加)</p>	
農業後継者等海外長期研修支援	<p>農業後継者が先進的・近代的な農業を体験し、地域農業リーダーの資質を醸成するため、海外で1年以上留学して行う実践研修に支援(支援者：1名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修内容：有機野菜、果樹、放牧地の栽培管理</li> <li>・研修先：スイス 期間：平成26年3月～平成27年3月</li> </ul>	
青年農業士認定事業	<p>地域における農業後継者が自ら意欲と誇りを高揚するために青年農業士を認定(新規認定者数：33名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定証授与式、記念講演(平成26年2月3日(100名参加))</li> </ul>	
農業後継者育成事業推進委員会の開催	<p>農業後継者育成事業の運営、事業推進等について協議、意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業後継者育成事業推進委員会(委員22名)</li> <li>・推進委員会の開催(平成26年3月14日)</li> </ul>	



(2) 就農促進サポート事業（兵庫県青年農業者等育成センター事業）

「青年等の就農促進のための資金の貸付等に関する特別措置法」に基づく「青年農業者等育成センター」として、就農相談、青年農業者育成指導とあわせ、就農支援資金の業務を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費(円)
就 農 促 進	① 就農相談 ・就農希望者向けセミナー・相談会 平成25年7月（88名）、平成26年2月（157名） ・新農業人フェア 平成25年8月（45名）、平成26年3月（40名） ② 就農促進担当者会議 平成26年3月	1,675,000
青 年 農 業 者 育 成 指 導	① 農業高校生等のつどいの開催 平成25年11月（199名） 就農等に係る意向調査(回答 122名) ② 農業青年活動促進 ・青年農業者技術交換大会 平成25年7月（72名） ・県農村青少年技術交換大会兼青年農業者会議 平成25年11月(107名)	
就農支援資金 貸付業務	①就農支援資金制度啓発 ②就農支援資金事務委託（JA兵庫信連等へ委託）	

9 「楽農生活」推進事業（定款第4条第1項第9号、11号）

(1) 兵庫楽農生活センター管理運営事業

ア 施設の管理運営、広報等

兵庫県から指定管理を受け、県民の誰もが「農」に関する様々な体験や学習、実践を通じて、自然と親しみ、自然と共に生きることを実感しながら、食と「農」を楽しむことができる「楽農生活」の実現に資するため、季節に応じたフェアや各種体験イベント等を実施するとともに、環境学習等団体用の日よけの整備等施設の充実を行うなど、兵庫楽農生活センター（面積約14ha）の管理運営業務等を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費(円)
管理運営業務	① 施設の利用者数：163,020人 ② 主要イベントの企画・実施：5回 計35,874人 ・「春野菜フェア」 (10,264人) 平成25年4月20日(土)～5月6日(月)開催 ・「夏野菜フェア」 (9,416人) 平成25年6月22日(土)～7月9日(火)開催 ・「秋の果物・野菜フェア」 (7,530人) 平成25年9月2日(土)～16日(月)開催 ・楽農生活フェア「秋の感謝祭」 (2,750人) 平成25年11月9日(土)開催 ・「冬野菜フェア」 (5,914人) 平成25年12月1日(日)～15日(日)開催 ③ 事業参加者による体験イベント等に関する広報、募集、受付、調整 【株式会社トーホー】 ・食体験(レストラン)：利用者83,502人 ・野菜栽培体験：124回(3,289人)開催 ・きのこ栽培体験：97回(1,935人)開催 ・里山づくり体験：31回(964人)開催 【兵庫六甲農業協同組合】 ・農産物加工体験：80回(1,580人)開催 ・農産物直売：利用者36,324人 【老ノ口受託グループ】 ・果樹栽培体験：26回(1,112人)開催 【日立キャピタル株式会社】 ・農機具展示 ・農機レンタル：21台 ④ 研修室利用件数：254回 (研修室A 134回, 研修室B 61回, 研修室C 59回) ⑤ 多目的広場の日よけ施設設置や、きのこ館エントランス空調設備の新設などによる施設の充実 ⑥ センター内の巡視管理、警備誘導、深井戸ポンプ本体交換等施設設備の修繕改修及び維持管理等	45,642,380
広報・普及啓発業務	センター施設や事業内容等の広報、「楽農生活」の普及啓発等 ・ホームページやイベントチラシ等による情報発信 ・楽農生活研修の実施や小学校環境体験学習の受入 ・市民農園の利用案内などの情報提供等	

## イ 楽農学校等事業

「楽農生活」の実現に向けて、県民誰もが気軽に「農」の大切さを学び、体験し、実践できるよう、人材の育成や学習を支援する「楽農学校事業」や農作物栽培、加工、食などの体験・交流を支援する「楽農交流事業」や中高年齢者等の新規就農を支援する「新規就農駅前講座推進事業」、プランターを使った野菜等の栽培を学ぶ「ベランダ野菜等栽培講座推進事業」等を実施した。

区 分		事 業 内 容	事業費(円)
楽 農 学 校 事 業	生きがい農業 コース	市民農園などで生きがいとして農業を楽しみたい人を対象に基礎的な農業知識・技術を習得する研修 ・研修人数：118名(上期57名、下期61名) ・研修期間：6か月間(土・日) (上期：4月～9月、下期：9月～3月)	26,618,500
	就農コース	本格的な農業経営を目指す人を対象に、総合的な農業知識・技術を習得する研修 ・研修人数：34名(9期18名、10期16名) ・研修期間：毎年9月から1年間	
	アグリビジネス コース	新たに加工・販売・サービス事業などのアグリビジネスを希望する農業者等を対象に、基礎的な知識から具体的な販売方法等を習得する研修 ・研修人数：11名(加工：5名、直売：6名) ・研修期間：加工(10月～12月 6回) 直売(10月～12月 6回)	
楽農 交 流 事 業	親子農業体験 教室	「農」への理解促進と自然とのふれあいを図るため、親子(家族)を対象に、「コウノトリ育む農法」による田植えから稲刈りまでの稲作栽培を体験する教室 ・参加者数：88家族(352名)	
新規就農 駅前講座推進事業		農業に関心のあるシニア世代のサラリーマン等を対象に、農業の基礎的な知識を習得する講座 ・平日夜間コース：21回(7回×3期 神戸市内) ・休日昼間コース：5回(5回×1期 明石市内) ・内容：12講義と兵庫楽農生活センターの視察 ・受講者数：95名	
ベランダ野菜等 栽培講座推進事業		プランターを使った野菜等の栽培を学びたい人を対象にした栽培講座 ・講義3回、相談3回 ・受講者数：70名	
新規就農者 確保事業		楽農学校事業の就農コース研修生のうち、就農前の研修期間の所得を確保する「青年就農給付金(準備型)」の希望者に対して、給付申請等を支援 ・給付申請者数：8名	

## ウ 都市農村等交流事業

### ① ふるさとむら活動支援事業

都市住民に対して農村ボランティアの募集を行い、ボランティア活動の受け入れ体制の強化を希望する「ふるさとむら」において、ボランティアが必要な知識や実技を習得するための研修を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費(円)
農村ボランティアの募集・登録	・ホームページやチラシ、広報誌、主要イベント等を活用した情報発信 ・平成25年度新規登録者数160名 累計3,207名	3,150,000
活動研修会の開催	・実施場所 朝来市上八代地区ほか2地区(3回) ・参加者数 97人	

### ② 都市農村交流バス運行支援事業

県内の各種団体等が体験、研修活動を実施するにあたり、グリーン・ツーリズムバス、消費地探訪バス、わが町PRバス、ふるさとむら活動支援バスを利用する場合、バスの借上げ経費の一部を助成することにより、都市と農山漁村の交流を促進した。

区 分	事 業 内 容	事業費(円)
グリーン・ツーリズムバス	田植え、間伐、地引き網等の農林漁業体験や研修を行うバス旅行 382台(うち1泊2日 65台)	15,841,810
消費地探訪バス	農林水産物の流通施設や加工施設への調査研修、各種行事への出展やフォーラム参加等のためのバス旅行 19台(うち1泊2日 0台)	
わが町PRバス	産地PRや農林漁業体験、援農ボランティアに一般参加者を募集して実施する体験バス旅行 63台(うち1泊2日 2台)	
ふるさとむら活動支援バス	農村ボランティア活動を行う際にふるさとむら又はボランティアグループ等が運行するバス旅行 22台(うち1泊2日 1台)	
計	486台(うち1泊2日 68台)	

## (2) 市民農園の推進

「楽農生活」を普及・推進するため、交流広場、駐車場等の施設を備えたひょうご市民農園(公社型)を3カ所整備するとともに、市民農園の利用促進活動等を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費(円)
ひょうご市民農園(公社型)	・整備3カ所(明石市2カ所・加東市) ・啓発・利用促進等	5,470,518

## 10 農村地域産業誘致事業（定款第4条第1項第10号）

農村地域工業導入促進事業として整備した用地について、企業等への誘致活動を実施したが新規分譲には至らなかった。未分譲地は約5.2haである。

### ○平成25年度事業費

3,810,275円（固定資産税、草刈り等費用）

### ○平成25年度末用地原価

1,707,264,628円